

The 2 Chome Times 平成29年 1月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO224.

2017・1・25.

発行 神戸三宮センター街 2 丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2 丁目タイムス 1 月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2 丁目目で KOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★阪神・淡路大震災 22 年、追悼式と献血活動

今年で阪神・淡路大震災から 22 年が経ちました。6400 名以上の尊い命が奪われたあの災害から年月が



経つにつれ、その記憶が薄れてしまったり、震災を知らない世代が増えて来ているのが現実ではないでしょうか。しかし日本は災害大国であり、イザという時のためにもこの記憶を風化させるわけにはいかず、今年も 17 日の 11 時から追悼式と献花を行いました。多くの方々も献花に加わっていただきました。そして例年通り街ぐるみで進めている献血活動も行いました。厳冬の中、ティッシュをお配りするとともに、献血の御協力へのお願いを積極的に行いました。冬場はどうしても献血される方の人数が減りがちですが、献血で採取された血液にも当然のことながら使用期限があり、そのため常に新たな血液が必要です。どうかこれからも皆様の御協力をお願い致します。



★INAC 神戸が皇后杯を手にしました！

私達が応援する INAC 神戸レオネッサが年末の 25 日、昨年と同じ顔合わせとなるアルビレックス新潟レディース相手に勝利を収め、二年連続となる第 38 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会優勝という栄冠を手にしました。



会場は千葉にあるフクダ電子アリーナで、戦いは両チームとも激しい攻撃をしかけましたが、延長戦まで含めて得点ができず、PK での決定戦となり、ゴールキーパーの武仲選手のファインセーブで INAC 神戸が 5-4 で勝利しました。関係者の方々だけではなく、地元のチームである INAC 神戸の勝利は私達にとっても大きな勇気を与えてくれるものであり、これからの期待も高まるものですね。頑張れ INAC！！



★とんかつむさし 川飛さんがテレビに出ます！お相手は…

好評放送中の NHK 朝の連続テレビ小説「べっぴんさん」ご覧になれていますか？ドラマのモデルは三宮センター街 2 丁目目で創業したファミリアの坂野惇子さんです。その坂野さんにスポットをあてた番組が放送されます。BS-TBS の「高島礼子・日本の古都～その絶景に歴史あり～」という番組で 2 月放送予定の 2 時間スペシャルで坂野惇子さんの足跡を女優の高島礼子さんが神戸の研究をされている高木先生と辿るというもの。12 月末に神戸別品博覧会会場で撮影され、坂野惇子さんを知っている人として、当時ファミリアのお隣だった「とんかつむさし」の川飛さんが高島礼子さんのインタビューを受けました！さすがは川飛さん、女優さんを前に一発 OK でした。高島礼子さんという“べっぴんさん”を



左から神戸居留地研究会の高木さん、高島礼子さん、とんかつむさし 川飛さん

前にして、ハッスルしていたのかもしれませんがね！神戸の歴史と合わせて、川飛びさんの勇姿(?)をぜひご覧ください。

番組名：BS-TBS 高島礼子・日本の古都～その絶景に歴史あり～特別編 2時間 SP「べっぴんさん 坂野倅子～その素顔と真実～」／放送日時：2017年2月17日(金)21時から

★行って来ました

先日、鳥取県大山にある植田正治写真美術館に車で行って参りました。この美術館は生地である山陰の自然を舞台に、被写体をオブジェのように配置する独特の技法で多くの有名作品を残してきた写真家植田正治氏(1913年3月27日 - 2000年7月4日)の作品を展示しています。植田正治氏は、鳥取県西伯郡境町(現境港市)出身で、国内のみならず世界的にも評価の高い写真家です。鳥取砂丘を舞台にした「砂丘シリーズ」の大胆な空間構成は、今なお色褪せることなく、私達に新鮮なインパクトを与えてくれます。最近では、シンガーソングライター・俳優の福山雅治さんが師事。ここは著名な建築家高松伸氏が設計し、のどかな田園風景にぽつんと現れる外観は、植田正治氏のスタイルに見られる「無機質さ」をそのまま表現したかの様です。眼前にそびえる大山そのものを建築意匠として取り入れるなど、周囲環境との調和も一見の価値があると思います。館内には、彼が生涯に撮影した膨大な作品が展示され、2階には、カメラの内部にいるような感覚が体験できる映像室が公開されています。建物自体が一つの芸術の感があり、館内にある池には正面にある大山が逆さに映り、いわゆる「逆さ大山」が観られるのも見どころの一つです。帰りにそこから10分のところに「山の駅大山望」があり地元自慢の野菜やお肉などがお手軽価格で入手でき、私はそこで現地自慢の山芋を買い自宅でお好み焼きを作り食しました。絶品でした。神戸から米子道を通り大山高原スマートICまで約3時間。そこからたった5分で着くことが出来ます。近くに温泉もあり日帰りドライブにはもってこいの旅程だと思います。冬季は12月1日から2月28日まで休館となっていますので3月以降に春のドライブがてらに如何でしょうか。



植田正治写真美術館 営業時間 9:00～17:00 火曜日定休 12月1日から2

月28日まで休館

TEL:0859-39-8000 ホームページ <http://www.japro.com/ueda/>

★街の新年会、美味しい料理でしたよ

新年最初の街の行事である新年会がいつもの中華料理店「悠苑」で5日(木)に午後6時から行われました。



参加者は御招待客も含めて46名で、冒頭、久利理事長の御挨拶の後、来賓を代表して四国銀行神戸支店長執行役員の熊沢慎一郎様よりお祝いの御挨拶を頂ました。そして岸野副理事長の乾杯の音頭で神戸ワインの乾杯となり、前菜となるオードブルから料理がスタートしました。どの料理も本当に美味しく、



フカヒレのスープは特筆ものでした。楽しい時間はアツと言う間に過ぎ、今年の仕事に懸ける鋭気を頂いて帰途につきました。今年は仕事の都合などで参加ができなかった組合員の皆様も、どうぞ来年は御参加下さい！

★編集後記

新年明けましておめでとうございます。平成29年になりましたが、その「平成」も30年で終わりだとか。今は「平成生まれ」と言えば「新世代」という感覚ですし、昭和とは違って新しさが溢れている感じがしますが、その感覚も新元号が出来て何年かすれば徐々に薄れて行くのでしょうか。でも街の生命観や躍動感は元号が変わっても維持して行きたいですね。これからもその気持ちだけは失わないようにして行きたいと思います。